



バチカン・日本交流の軌跡をたどって



上智大学文学部史学科教授
イエズス会司祭

川村 信三

2020年の1月11日の早朝、私はイタリアでの調査を終え、ミラノ中央駅発・マルペンサ空港行のバスに揺られていました。夜明け前の漆黒の夜空に満月が鮮やかに映え、日の出を迎える頃には朝日が白雪を頂くヨーロッパ・アルプスを淡く桃色に染めていました。今思うと、その美しさと輝きはこれからはじまる夜の闇の手前のマジック・アワーだったのかもしれない。その二カ月後に、世界中に新型コロナウイルス感染症のパンデミックが襲いました。

教皇フランシスコ来日の興奮さめやらぬ日本教会と、オリンピック開催にむけ高揚しつつあった日本社会。新年の期待とはうらはらに、ありとあらゆる希望が根こそぎにされた一年。それを2020年の新年にあたって誰が予想したでしょうか。パンデミックは私たちの心と日常の風景をあつという間に虹色から灰色に変えてしまいました。すべての人がそれぞれの場合で、あらゆる失望を味わい、忍耐を今なお試されています。

個人としては、「バチカンと日本100年プロジェクト」という企画がすべて先送りにされたという想定外の一年でした。

バチカンと日本100年プロジェクトは、角川文化振興財団の理事長である角川歴彦氏の提唱によ

り2017年に発足した国際文化交流プログラムです。東京オリンピック開催の年に向け、日本とバチカンの文化交流を主軸としたシンポジウム(国際学会)や展示会をバチカン市国の協力のもとに開催するのがその主たる内容でした。

バチカン美術館の日本での展示計画などと並行して、学術研究部門が青柳正規・東京大学名誉教授の下に組織され、私はその座長をつとめることとなりました。角川財団の私的プロジェクトとはいえ、バチカン市国の全面的な協力のもと、バチカン図書館・文書館・博物館が協力し、その史・資料の整理及び公開を支援する大規模な企画がたてられました。

これまでも、バチカン所蔵の日本関係史資料は多くの研究者によって閲覧、利用されてきましたが、個々の研究者だけではそのアクセスには限界があり、さらに利用制限も厳しいという環境だったのを、研究組織ぐるみでアクセス可能とすることで、従来なしえなかった総合的な調査研究を実現させようとするものです。

発足当初、バチカンに所蔵されている未知の日本関係資料を探すとということが第一にありましたが、同時に、これまで知られていなかったものについてもより詳細な検討をくわえるという目的を加えました。未公開の資料といえば、バチカン美術館内の「布教民俗博物館」の日本文物についてはなお多くのものが手つかずに保管されている現実があります。

さらに日本の研究者がバチカンへ頻りに足を運ぶのは難しいため、現地の研究者を雇用し図書館・文書館での閲覧・整理の継続を依頼し、グループの日本人研究者への情報提供を密にとるという方法が採用されました。これはきわめて画期的な方法で、コロナ禍にあり渡航制限が敷かれてからは絶大な効果を発揮しています。そうした研究の成果を2020年6月に長崎、11月に東京で公開するはずでしたが、それがすべて延期となって現在にいたっています。



バチカンには16世紀に整備された図書館(Biblioteca Apostolica Vaticana)と文書館(Archivio Vaticano)そしてバチカン博物館(Musei Vaticani)が連合体のようにして存在します。バチカンの所蔵物といえばなにか秘密のベールに包まれたもののように想像されがちです。とくに文書館はこれまで「機密文書館」(Secret Archives)などと呼ばれ、歴代教皇らが公開したくない「秘密」文書が隠されているような印象を与えていました。正しくはローマ教皇の「秘書」局(Secretary)の文書保管庫というほどの意味でしかなく、残念ながら「秘密」のベールが存在するわけではありません。ダン・ブラウンの『天使と悪魔』という小説を元にした同名の映画に登場する文書館内部の映像はあくまで想像にもとづくフィクションです。バチカンの図書館も文書館も公開性という面では他の施設と変わりません。ただ、直近の教皇在位期間については75年間非公開という原則がたらぬかれています。つまり生存中の関係者がいるうちは文書を公開しないということなのです。



文書公開については、2020年3月画期的な出来事がありました。教皇フランシスコが、ピウス12世教皇治世の文書を閲覧可能にすると言言したためです。これによって、これまで多くの議論が巻き起こった教皇とナチス・ドイツの関係などが明らかになるでしょう。また、戦前の日本とバチカンをめぐる文書も、先の現地研究員のおかげで史料整理がすすめられています。新しい歴史解釈が登場することもありえそうです。

バチカンと日本100年プロジェクトは大きな困難に直面していますが、これまでに少しではあります。成果も見えてきました。個人の研究成果としては、バチカン図書館に所蔵されている17世紀初頭の「日本信徒の奉答書」(5通)を間近で観察することができたことです。(次頁下段に続く)

今季のおすすめ図書

冬の新作図書

新作図書の一部をご紹介します。貸出は、お電話またはホームページ上のWEBフォームからお申込みください。

	タイトル	著者
1	やさしさの贈り物 日々に寄り添う言葉 366	片柳弘史
2	核廃絶 諸宗教と文明の対話	上智学院カトリック イエズス会センター 島蘭進 編
3	ロマネスクとは何か 石とぶどうの精神史	酒井健
4	ケノーシス 大量消費時代と気候変動危機に おける祝福された生き方	サリー・マクフェイグ
5	悲しみとともにどう生きるか	柳田邦男ほか
6	キリスト教 本質と歴史	ハンス・キュンク
7	苦海・浄土・日本 石牟礼道子 もだえ神の精神	田中優子
8	ラファエロ ルネサンスの天才芸術家	深田麻里亜
9	ちょっとお話し しませんか 祈りと音楽の調べにのせて	三澤洋史
10	教皇フランシスコに聞く召命 の力：今日の奉獻生活	教皇フランシスコ フェルナンド・ブラド
11	Fratelli Tutti : On Fraternity and Social Friendship	教皇フランシスコ
12	十戒・主の祈り：教皇講話集	教皇フランシスコ
13	教皇フランシスコ講話集7	教皇フランシスコ
14	イスラームからヨーロッパを みる	内藤正典
15	読書のちから	若松英輔
16	モンテッソーリ教育と子ども の幸せ	江島正子
17	ここが知りたい キリスト教への25の質問	百瀬文晃
18	押田成人著作選集（全3巻）	押田成人
19	旅ごころはリュートに乗って 歌がみちびく中世巡礼	星野博美
20	だから私は、神を信じる	加藤一二三
21	必ず道は開かれる	越前喜六
22	神父さんが描いた”読む漫画” ：笑いの奥に真理が宿る	インドロ・リバス
23	イエズス会がみた「日本国王」 天皇・将軍・信長・秀吉	松本和也

	タイトル	著者
24	影に対して：母をめぐる物語	遠藤周作
25	みんなの聖書・マンガシリーズ 黙示録（レヴェレイション） 心開かれし者の記	NEXT 著 あずみ涼 画
26	須賀敦子の本棚8 神を待ちのぞむ	シモーヌ・ヴェイユ
27	わたしたちはどんな医療が欲しいのか？	ミヒャエル・デ・リッター
28	「井上ひさし」を読む	今村忠純ほか
29	今、目の前のことに心を込め なさい	鈴木秀子
30	天の指揮者	服部剛 詩 関谷義樹 写真
31	宗教改革の知的な諸起源	A.E.マクグラス
32	小説 末永敏事	長洋弘
33	旧約聖書 〈戦い〉の書物	長谷川修一
34	誰も気づかなかった	長田弘
35	ビザンツ帝国 千年の興亡と皇帝たち	中谷功治
36	キリスト教会史 100 の日付	ベネディクト・セール
37	「生きるに値しない命」とは 誰のことか ナチス安楽死思想の原典からの 考察	森下直貴 佐野誠 編著
38	不滅の哲学 池田晶子	若松英輔
39	長生きしたいわけではないけれど。	曾野綾子
40	ミネのかけら ムーミン谷へとつづく道	富原真弓
41	悲しみと悪を神学する 神義論入門	M.S.M.スコット
42	聖地巡礼ガイド イエス・キリストの足跡をたどる	高久充



感染症関連の図書

	タイトル	著者
43	「今を生きる」そのために 苦しみ、悩み、恐れ、無関心からの 脱却	森一弘
44	希望する力 コロナ時代を生きるあなたへ	晴佐久昌英 片柳弘史
45	コロナ後の世界を生きる 私たちの提言	村上陽一郎
46	私たちはどう生きるか コロナと向き合う	婦人之友社編集部 編 福岡伸一ほか 著
47	世界史を変えた13の病	ジェニファー・ライト
48	神とパンデミック	N.T.ライト
49	聖なる父 コロナの時代の死と葬儀	P.T.フォーサイス 著 川上直哉 訳
50	漫画 トルストイ 人は何によって生きるか	レフ・トルストイ 著 石川森彦 画
51	パンデミックの文明論	ヤマザキマリ 中野信子
52	弱さのちから	若松英輔
53	病の神学	ジョン＝クロード・ラ ルシェ
54	病と信仰 病を担うイエスと生きる	黒鳥偉作
55	黒死病：疫病の社会史	ノーマン・F・カンター
56	パンデミック後の選択	教皇フランシスコ
57	コロナウイルスとキリスト 未曾有の危機に聖書を読む	ジョン・パイパー

【追悼】アルフォンス・デーケン神父

第二代聖三木図書館長(1990-98年在職)アルフォンス・デーケン神父が2020年9月6日帰天されました。「死」の話は縁起が悪いとタブー視されていた頃から「死への準備教育」を提唱、「死生学」の普及に努められました。上智大学の「死の哲学」の授業はもとより、講演、著作、マスコミ取材など多忙で活動的な先生でしたが、いつも優しく楽しい、何事にも真摯なお姿が懐かしく思い出されます。「よく生きるために死を考えよう」と優しく語りかけるデーケン先生の本をご紹介します。

アルフォンス・デーケン(1932-2020)

イエズス会司祭。上智大学名誉教授。「死生学」の普及につとめた功績に対し、全米死生学財団賞、菊池寛賞、ドイツ連邦共和国功勞十字勲章、東京都文化賞、若月賞ほか受賞多数。



	タイトル	著者
58	ユーモアは老いと死の妙薬 死生学のすすめ	A.デーケン
59	心を癒す言葉の花束	A.デーケン
60	よく生きよく笑いよき死と出会う	A.デーケン
61	キリスト教と私	A.デーケン
62	死とどう向き合うか	A.デーケン

「バチカン・日本交流の軌跡をたどって」

(前頁より続き)

1617年、教皇パウロ5世は聖ペトロ大聖堂の再建完成を祝って「聖年」と「全免償」を世界に公布しました。その知らせが日本に届いたのは二年後です。禁教令と迫害の開始で混乱の底にあった日本信徒は教皇の直接の語りかけにより大きな慰めを受けました。その御礼として日本の主だった信徒団の代表(全国5カ所・有馬・長崎・都・中国四国・奥羽)が感謝状としてローマ教皇に贈り届けたのが「奉答書」です。なかでも都地区の信徒が作成した「奉答書」は金箔を多用した豪華絢爛の仕上がりになっていて、日本にあれば国宝あるいは指定文化財級の価値をもつものといえ、実物の放つオーラを堪能しました。

「奉答書」は1920年代頃から日本人にもその存在が知られるようになり、写真版なども各地の史料館や図録で目にするようになりましたが、今回私は、東京大学経済学部を中心に結成された(科研究費研究)チーム(私自身もメンバーに加わっている)の協力のもと、バチカン入りをし、その奉答書および日本関連資料(天正遣欧使節ヴェネチア感謝状、伊達政宗文書、「イエズス会講義要綱」の「紙質分析調査」実施のため、光学顕微鏡(LEDパネル等)などを持ち込んで、文字通りその繊維一本一本にいたるまで徹底して調査してきました。素材は日本の最高級の和紙である「雁皮」紙や「三極」紙であることが判明し、これらの資料が工夫され丹精こめて作成された事実が浮かび上がりました。こうした調査をバチカン図書館の「修復室」で時間をかけて手掛けることができたのもこのプロジェクトのおかげです。それが2020年1月の最後の調査となってしまいました。その成果は2021年、長崎と東京で公開する予定です。

コロナ禍にあつて、私たちはなお「忍耐」を強いられています。これが、良い意味で、なんらかの「気づき」「学び」の機会に転じることを願ってやみませ

聖三木図書館からのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため入館に制限を設けており、皆様にはご不便をおかけしております。サービス再開などのお知らせは、館外掲示物やホームページにて随時行ってまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

返却

返却期限を迎えた資料は早めのご返却をお願いしています。返却が難しい場合はご相談ください。

返却方法：岐部ホール1F 返却ポストに直接投函
または郵送（郵送方法不問）

送り先：〒102-0083

東京都千代田区麴町6-5-1
岐部ホール2F 聖三木図書館 宛

問い合わせ

お問い合わせは以下の窓口より受け付けています。サービス状況の確認、調べている事柄に関連する資料の紹介や、調べ物のお手伝いをすることもできます。気になることがございましたら、ぜひお問い合わせください。

☎お電話から

電話番号：03-3262-0364

受付時間：11:30～16:00

（木曜・祝日・毎月末日休館）

■オンラインフォームから

ホームページからフォームにアクセスし、お問い合わせ内容をご記入ください。

質問によっては回答までにお時間を頂戴する場合がございます。



←問い合わせは
こちらから

貸出

現在、電話またはオンラインフォームにて事前に予約された資料の貸出を行っています。

貸出資料の受け取りは、来館もしくは指定のご住所への郵送（送料は申込者負担）が選択できます。

☎お電話から

お電話で以下の2点についてお伝えください。

- ①貸出を希望する資料（タイトル・著者など）
- ②受取方法（来館または郵送）

予約の可否を確認後、折り返しご連絡いたします。

■オンラインフォームから

ホームページからフォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

ホームページでは貸出について更に詳しくご案内していますので、ぜひご確認ください。



←貸出申込は
こちら



←聖三木図書館
HP(貸出案内)

利用カードの申込・更新

聖三木図書館友の会発行の「聖三木図書館利用カード」（有効期間1年）の新規登録及び更新手続きは、来館せずに行うこともできます。登録をご希望の方はお問合せください。

年会費	一般	2,000円
	学生	1,000円
	賛助会員	5,000円・10,000円

免許証・保険証など（学生の方は学生証）をご提示いただきます。

※臨時休館していた期間につきまして、利用カードの有効期限を延長いたします。

対象は以下の会員の方、延長期間は3か月です。

対象：2020年3月28日～2021年3月27日
に有効期限を迎える方

聖三木図書館報『みき』第10号

イエズス会聖三木図書館

〒102-0083

東京都千代田区麴町 6-5-1 岐部ホール 2F

TEL: 03-3262-0364

ホームページ:

http://www.jesuits.or.jp/~j_seimikibun/

題字：北爪悦子シスター(師イエズス修道女会)